

苑」に委託している。

質疑(小坂)

- 地域生活支援事業補助金の内容は
- 「イノセント」「まいか」4力所の障がい者施設への補助金である。

答弁(二宮福祉課長)

- 美馬市と共同で行つている障がい者相談支援事業で「かしがおか」「小星園」
- 「イノセント」「まいか」4力所の障がい者施設への補助金である。

質疑(小坂)

- 障がい者の方で事業所に入所されている方は、継続してサービスを受けることができると思うが、親族が在宅でお世話をしている場合、将来的にお世話をする親族がいなくなつた時の対応は

答弁(二宮福祉課長)

- 重度で在宅での生活が困難な方は施設入所での対応となるが、軽度で在宅生活の方は居宅介護等を行うが、親族が在宅でお世話をしている場合、将来的にお世話をする親族がいなくなつた時の対応がいなくなつた時の対応

質疑(小坂)

- 障がい者の方で事業所に入所されている方は、継続してサービスを受けることができると思うが、親族が在宅でお世話をしている場合、将来的にお世話をする親族がいなくなつた時の対応

答弁(二宮福祉課長)

- 障がい者の方で事業所に入所されている方は、継続してサービスを受けることができると思うが、親族が在宅でお世話をしている場合、将来的にお世話をする親族がいなくなつた時の対応

質疑(小坂)

- やすらぎ苑および百寿荘の施設利用状況は
- 答弁(坂本半田地域福祉センター所長・上野一宇)
- 高齢者生活福祉センター所長)

質疑(小坂)

- やすらぎ苑においては本年度、2月末現在30人53名で月平均300人程度の利用である。
- 百寿荘においては本年度、2月末現在で延べ利用者は前年度比較で75人減少、生きがいデイサービスにおいても379人の減少となつていて。通所介護の利用においては30人4人増加している。

質疑(小坂)

- 半田病院西側の駐車場は、進入経路が狭く車輛の接触事案が度々生じていると共に、駐車場収容量の不足から患者さんには多大な迷惑をかけていた。災害拠点病院であり、慢性的な駐車場不足を解消するために、昨年購入した西側用地を活用し患者さんの利便性向上を目的に駐車場と進入路を確保する

質疑(小坂)

- 予算合計額が前年度と比較して減額となつていい算
- 平成29年度つるぎ町後期高齢者医療特別会計予算

議案第38号

(3名以上)の確保が地域によっては難しい状況となつているが、可能なかぎり設置している。

質疑(小野)

- 利用しながら、作業所、事業所などに通うなどのサービスの組み合わせで対応が可能となる。また、在宅で不安がある方についても、グループホーム等を利用して作業所等に通所し、就労へつなげるといた対応が出来る。

質疑(小野)

- 老人福祉費に計上されている、冷房設備リース代の内容は

質疑(小野)

- 平成29年度の新事業として、貞光中学校による「ふるさと大好き地域防災推進事業」を実施する予定である。県の事業であり、学校防災活動の活性化や地域防災活動と連携し、地域防災にも活躍できる人材を育成するための事業である。

質疑(小野)

- フィールドワークによる避難場所や備蓄品の確認。避難訓練での率先避難行動や実際の避難経路などを細かい調査や避難経路の清掃ボランティア活動などが主な事業である。

質疑(小野)

- 過疎化に伴いひとり暮らし高齢者への緊急通報装置に支障はないのか
- 答弁(松岡長寿介護課長)
- 緊急通報装置設置の際に必ず必要となる協力者

質疑(小野)

- やすらぎ苑における原因は工法については、病院と被保険者数の減少等により、後期高齢者医療広域連合納付金が減少したためである。

質疑(小野)

- 本年度、2月末現在30人53名で月平均300人程度の利用である。
- 百寿荘においては本年度、2月末現在で、延べ利用者は前年度比較で75人減少、生きがいデイサービスにおいても379人の減少となつていて。通所介護の利用においては30人4人増加している。

質疑(小野)

- 半田病院西側の駐車場は、進入経路が狭く車輛の接触事案が度々生じていると共に、駐車場収容量の不足から患者さんには多大な迷惑をかけていた。災害拠点病院であり、慢性的な駐車場不足を解消するために、昨年購入した西側用地を活用し患者さんの利便性向上を目的に駐車場と進入路を確保する

質疑(小野)

- 目的外駐車等も懸念していたがそういう事例も度4月より無料開放している。
- 現在の駐車場は、本年度4月より無料開放して

質疑(小野)

- 駐車場料金はどうするのか
- 答弁(丸笠半田病院総務課長)
- 駐車場整備事業の内容は

質疑(小野)

- 駐車場料金はどうするのか
- 答弁(丸笠半田病院総務課長)
- 駐車場整備事業の内容は

質疑(小野)

- 予算合計額が前年度と比較して減額となつていい算
- 平成29年度つるぎ町後期高齢者医療特別会計予算

■ 新年度からの介護予防、生活支援サービス事業のうち、緩和した訪問型サービス事業へのシルバー人材センターからの参入はあるのか

質疑(小野)

- 平成29年度つるぎ町介護保険(事業勘定)事業特別会計予算

質疑(小坂)

- 保険給付費、施設介護サービス給付費が前年度より減額となつている理由は

質疑(小坂)

- 老人福祉費に計上され代の内容は

質疑(小野)

- 平成29年度の新事業として、貞光中学校による「ふるさと大好き地域防災推進事業」を実施する予定である。県の事業であり、学校防災活動の活性化や地域防災活動と連携し、地域防災にも活躍できる人材を育成するための事業である。

質疑(小野)

- フィールドワークによる避難場所や備蓄品の確認。避難訓練での率先避難行動や実際の避難経路などを細かい調査や避難経路の清掃ボランティア活動などが主な事業である。

質疑(小野)

- 介護サービスの利用は、要支援と要介護では違つていると思うが、頻度は

質疑(小野)

- 介護サービスの利用は、要支援と要介護では違つていると思うが、頻度は

質疑(小野)

- 介護サービスの利用は、要支援と要介護では違つていると思うが、頻度は

質疑(小野)

- 一般管理費において前年比、減額の957万円の理由は

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、主に農林、建設、商工、観光、環境、水道及び地籍等に関する議案を審査します。

議案第4号

つるぎ町農業委員会の委員及びつるぎ町農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

質疑(小坂)

■能率給とはどういうことか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

最適化推進員の活動実績により基本給に上乗せされるものである。

質疑(三好)

■農業委員会はどのようになことを行っているのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

権利移動、転用、利用権設定等を行っている。

質疑(伊庭)

■農業者数はどれくらいか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

議会推薦は廃止になる。

質疑(小坂)

■農業委員会はどのようなことを行っているのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

権利移動、転用、利用権設定等を行っている。

質疑(森長)

■特産物加工施設は一宇地区には無いのか

答弁(山本農林課長)

一宇、赤松生産組合はない。また旧町単位で生活改善グループはあるが、指定管理を行っているのは貞光の宮下だけである。

質疑(三好)

つるぎ町特產物加工施設に係る指定管理者の指定期について

つるぎ町滞在型宿泊施設に係る指定管理者の指定期について

つるぎ町地域間交流施設つるぎの宿岩戸に係る指定管理者の指定について

質疑(三好)

■急傾斜地崩壊対策工事の工事箇所は

答弁(板谷建設課長)

議案第4号

農業者世帯数では、1千世帯程である。

質疑(長浦)

■農業委員の議員推薦枠等の推薦委員は、新制度ではどうなるのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

推薦委員はなくなり、本人公募になる。

質疑(小坂)

■議会推薦は廃止になるのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

議会推薦は廃止になる。

質疑(小坂)

■農地を持つていなくても委員に選任できるのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

中立員として農業に携わっていない者を1名選任する。

質疑(長浦)

■公共事業以外の工事等で民間業者による使用もあるのか

答弁(板谷建設課長)

中立員として農業に携わっていない者を1名選任する。

質疑(小坂)

■繰越事業の進捗状況は

答弁(板谷建設課長)

ほとんどの事業が5月線について事業費が大きくなることもあり12月の予定である。

質疑(三好)

つるぎ町滞在型宿泊施設に係る指定管理者の指定期について

つるぎ町地域間交流施設つるぎの宿岩戸に係る指定管理者の指定について

質疑(三好)

■急傾斜地崩壊対策工事の工事箇所は

答弁(板谷建設課長)

議案第18号

つるぎ町残土処理場条例の一部を改正する条例

質疑(小坂)

■簡易水道と併せて一つの水道事業になるといふことだが、料金はどうなるのか。また簡易水道施設は設置後何年になるのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

年間約1万2千～3千m³である。災害の発生等により増える場合がある。

質疑(小坂)

■増額となつた処理費用は業者負担となるのか

答弁(板谷建設課長)

設計金額に入つてあるので業者負担はない。

質疑(長浦)

■簡易水道は表流水を直接いれているのか。また

答弁(鎮山水道課長)

源は確保できているのか

質疑(小坂)

■簡易水道は表流水を直接いれているのか。また

答弁(鎮山水道課長)

表流水は、砂濾過している。

質疑(森長)

個人の水道設備等の水

答弁(板谷建設課長)

接いれているのか。また

質疑(長浦)

■簡易水道は表流水を直接いれているのか。また

答弁(長谷農業委員会事務局長)

施設は設置後何年になるのか

質疑(小坂)

料金の変更はない。施設に関しては、40年経過している。

議案第19号

つるぎ町水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例

質疑(小坂)

■簡易水道と併せて一つの水道事業になるといふことだが、料金はどうなるのか。また簡易水道施設は設置後何年になるのか

答弁(長谷農業委員会事務局長)

年間約1万2千～3千m³である。災害の発生等により増える場合がある。

質疑(小坂)

■増額となつた処理費用は業者負担となるのか

答弁(板谷建設課長)

設計金額に入つてあるので業者負担はない。

質疑(長浦)

■今回の統合は、将来的料金改定につながるものな

答弁(鎮山水道課長)

はプロジェクトで行うのか、またDVDの貸し出しも行うのか

質疑(小坂)

■今回の統合は、将来的料金改定につながるものな

答弁(板谷建設課長)

はプロジェクトで行うのか、またDVDの貸し出しも行うのか

質疑(森長)

■今回の統合は、将来的料金改定につながるものな

答弁(板谷建設課長)

はプロジェクトで行うのか、またDVDの貸し出しも行うのか

質疑(長浦)

■今回の統合は、将来的料金改定につながるものな

答弁(長谷農業委員会事務局長)

はプロジェクトで行うのか、またDVDの貸し出しも行うのか

質疑(小坂)

■今回の統合は、将来的料金改定につながるものな

費に充当する農地維持支払い交付金と共用施設の

軽微な補修工事を行う資源向上支払交付金で構成している。

質疑(小坂)

- 有害鳥獣捕獲数及び防護柵の設置状況は

答弁(山本農林課長)

- 28年度における有害鳥獣捕獲数は、イノシシ16頭、シカ328頭、サル4頭である。

質疑(小坂)

■中山間地域等直接支払事業の内容は

この事業は、集落を単位に、農地の維持管理などをしていく事業であり、面積に応じて一定額を支給する事業である。現状は、農家の高齢化や労力不足により支払い面積が減少傾向にあるが、集落の皆様と連携し農地維持に努めていく。

質疑(小坂)

- 駆除を委託している獣友会はどのようなことを行つているのか

駆除の他にパトロールや有害鳥獣の調査を行つてある。駆除については年間を通じて行つてある。

答弁(山本農林課長)

- 合併浄化槽補助金の額と進捗状況は

答弁(宇山環境課長)

補助金の額は5人槽が

質疑(小坂)

- 貞光地区から現在の終点までの料金は

答弁(武田まちづくり戦略課長) 現在の終点はつづろお堂であるが、この間には貞光エリア・端山エリア・一宇エリアがあり、乗車料金600円である。

質疑(吉田)

- バス運行条例の一部を改正する条例

つるぎ町コミュニティーバス運行条例の一部を改正する条例

答弁(武田まちづくり戦略課長)

そのとおりで、毎年JRバスのダイヤ改正を基に、コミュニティーバスの時刻表をそれに合わせて変更している。

質疑(上家)

- 古見地区から貞光まで行くのに600円で以前と料金が同じくらいなので値下げできないか

答弁(武田まちづくり戦略課長) 現状の料金体制では近くの利用者は割高になるが、距離が遠くなれば割と安くなっている。距離で細かく料金設定ができるが良いが、そうするとドライバーの負担となり安全が確保できない。料金については今後の検討課題としたい。

質疑(谷川)

- 軽自動車税の環境性能割りによって、町としての税収はどうなるのか

つるぎ町税条例等の一部を改正する条例

議案第12号

つるぎ町税条例等の一部を改正する条例

質疑(田野)

- 納期を増やすと納付率は上がるのか。

つるぎ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

議案第13号

つるぎ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

質疑(田野)

- 国保の納付率は93・2%なので変わらないが、負担軽減につながる。

つるぎ町企業立地促進条例の一部を改正する条例

議案第20号

つるぎ町企業立地促進条例の一部を改正する条例

質疑(吉田)

- 工場等ということは、全

質疑(伊庭)

- 吉野川環境整備組合の今後の状況は

美馬市と共に周辺住民の方々と協議中である。

答弁(宇山環境課長)

吉野川環境整備組合と方々と協議中である。

質疑(長浦)

- 入湯料が年々減っているようだが、増えるようにならぬかアピールしていかなければ

答弁(篠原商工観光課長)

入湯者がだんだん減っているが、高齢者割引が増えて入湯料が減っている現象もある。今後、担当者共々、増える方策を考えたい。

質疑(小坂)

- 半田上水施設無停電電道事業会計予算

平成29年度つるぎ町水道事業会計予算

質疑(小坂)

平成29年度つるぎ町剣山木綿麻温泉事業特別会計予算

質疑(小坂)

平成29年度つるぎ町特定環境保全公共下水道事業特別会計予算

質疑(小坂)

平成29年度つるぎ町大浴場の濾過器151万2千円、熱交換機150万円、給湯ポンプ150万円、残額が急な修理に対するための90万円である。

質疑(小坂)

修繕費については電柱移設時の修繕、無停電装置の修繕、マンホールポンプの水位計の修繕等である。汚泥の運搬費と処分費は、年間300トンの発生

質疑(小坂)

- 停電時、流量計等の監視システムに電気を供給するバッテリーである。小野浄水場に1台、半田支所内に2台、天皇配水池に1台、計4台を老朽化により取り替えるものである。

質疑(小坂)

平成29年度つるぎ町水道装置

質疑(小坂)

平成29年度つるぎ町大浴場の濾過器151万2千円、熱交換機150万円、給湯ポンプ150万円、残額が急な修理に対するための90万円である。

質疑(小坂)

修繕費については電柱移設時の修繕、無停電装置の修繕、マンホールポンプの水位計の修繕等である。汚泥の運搬費と処分費は、年間300トンの発生

を見込み、それを産業廃棄物として運搬処分する経費である。

質疑(吉田)

- 工場等の時刻表についてであるが、貞光駅の発着時刻はJRの時刻表を参考にしているのか

つるぎ町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の

質疑(谷川)

つるぎ町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の

質疑(田野)

つるぎ町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の

質疑(吉田)

つるぎ町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の

ての業種にかかるという

ことか

報関連産業のコンピューター産業とコールセン

ター、クリエイティブ関連

略課長)

要件を緩和するのは、情

報関連産業のコンピュ

ターアイブ関連

として各アパレル等、いろ

んな形の創造性技術等を

組み込んだ製造業等、幅

広い製造業である。

質疑

■今後、工業団地を増やしていく構想はあるのか

答弁(武田まちづくり戦

略課長)

新たな用地を調査中で

ある。

質疑(谷川)

■ふるさと納税の額はど

れぐらいか

答弁(古林企画課長)

28年12月末で874万

円である。これまでの総額

は2100万円で、ふるさ

と納税を活用したのは、半

田保育所の備品、小学校の

工アコン設置、於安パーク

の遊具修繕、貞光保育所の

トイレ・すべり台の修繕等

に充て、約900万円を利

用している。

質疑(吉田)

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だいている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

干し柿等、地元で採れたも

のを送っている。

質疑(田野)

■同じ指定管理者が延長

するといふことが

置かせてもらつている。

その施設の電気代も含

んだ使用料である。

質疑(吉田)

■NTT局舎土地利用料

の内容は

答弁(古林企画課長)

NTTの所有している、

八千代、一宇、一宇南とい

う施設の中に、中継器を

置かせてもらつている。

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

干し柿等、地元で採れたも

のを送っている。

質疑(吉田)

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

干し柿等、地元で採れたも

のを送っている。

質疑(吉田)

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

干し柿等、地元で採れたも

のを送っている。

質疑(吉田)

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

干し柿等、地元で採れたも

のを送っている。

質疑(吉田)

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

地元产品である大和柿、

干し柿等、地元で採れたも

のを送っている。

質疑(吉田)

■ふるさと納税の返礼品

は

本町では、返礼品につい

て外へ向けての情報発信を

行っていないが、約900

万円という県下の町村で

は一番高い寄付金をいた

だしている。返礼品として、

自治功労者表彰を受賞

平成29年2月24日に開催された第68回徳島県町村議会議長会定期総会において、徳島県町村議会議長会会長表彰式及び全国町村議会議長会会長表彰伝達式が行われ、本町議員から次の方が、永年にわたり地域の振興発展及び住民福祉の向上に尽力した功績により表彰されました。

議員として15年以上
全国町村議会議長会
会長表彰



齊藤嘉文 議員 吉田光子 議員

議員として25年以上
県町村議会議長会
会長表彰



長浦英彰 議員

農業遺産 ミニ知識

3月14日、徳島県西部2市2町の急傾斜地農法「にし阿波の傾斜地農耕システム」が、農林水産省から「世界農業遺産」の国内候補地と「日本農業遺産」に選ばれ、世界農業遺産の登録に向けて大きな一步を踏み出しました。

◆世界農業遺産

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり形作られた農業上の土地利用、伝統的な農業と、それに関わって育まれた文化、地域景観、生物多様性などが一体となった世界的に重要な農業システムを国連食糧農業機関(FAO)が認定する仕組みです。

◆日本農業遺産

農林水産省は、世界農業遺産の国内版として平成28年度に創設。耕作放棄地や限界集落の増加により失われつつある農業景観や農村文化の保護を目的としています。日本農業遺産認定後は、農産物のブランド化や観光客誘致を後押しするなど、攻めの農業が展開されます。

表紙写真 一宇 赤松集落

つのじ町の代表的な急傾斜集落の一つ。集落内の民家、石垣、畑などの光景は懐かしい山村の原風景を醸し出しています。
今から表紙写真に「つるぎ町の農業遺産」を掲載します。

美馬三好郡議会議員研修会

3月25日、美馬三好郡議会議員研修会が、つるぎ町「慶生殿 たにがわ」で開催され、両町の議会議員が出席しました。研修では、財務大臣政務官、三木亨参議院議員の「国政報告」と題した講演を拝聴し、今後の議会活動に大いに参考になりました。



議会の動き

2月10日	第一回臨時会本会議
2月13日	一部事務組合議会定例会
2月16日	県後期高齢者医療広域連合議会定例会
2月22日	議会運営委員会
2月24日	県町議会議長会定期総会 及び自治功労表彰
2月27日	第一回定例会開会本会議
3月1日	文教厚生常任委員会
3月2日	産業建設常任委員会
3月3日	総務常任委員会
3月10日	第一回定例会閉会本会議
3月25日	平成28年度美馬三好郡議員研修会
4月7日	一部事務組合議会臨時会
4月13日	議会広報編集常任委員会